



全国植樹祭の概要

[開催報告](#)[大会の概要](#)[大会テーマ・シンボルマーク等](#)[関連行事](#)[富山県実行委員会](#)[各種計画](#)[お手植え・お手播き樹種](#)

富山県実行委員会

2015年2月2日(月)

第2回総会

去る平成27年2月2日(月)、ANAクラウンプラザホテル富山(富山市)において、第68回全国植樹祭富山県実行委員会第2回総会を開催しました。

総会の概要

- 日時 平成27年2月2日(月) 午前10時00分～午前11時00分
- 場所 ANAクラウンプラザホテル富山(富山市大手町2-3)
- 議題
 - 第68回全国植樹祭基本計画(素案)について
 - 大会テーマについて
 - シンボルマークについて
 - 植樹行事計画について
 - 全国植樹祭に向けた平成26年度の取組状況について
 - 今後のスケジュール(予定)について

[イベント情報](#)[全国植樹祭だより](#)[開催に向けた取り組み](#)[苗木のホームステイ](#)[一般参加者募集](#)[入札情報](#)[シンボルマーク等の使用について](#)[寄附者一覧](#)[富山県・会場へのアクセス](#)[よくある質問](#)[お問い合わせ](#)[関連リンク一覧](#)

主な意見

- 大会テーマは、森・川・海へのメッセージが込められ、優しく、素敵なテーマになった。富山県の水の豊かさ、空の美しさ、緑の大切さとそれらを守るための全国にも誇れる取組みを紹介、アピールすることが重要。
- 県民参加の森づくりがより一層進むよう、森林ボランティア活動の活性化が必要。
- お手植え・お手播き樹種は、ホオノキなど品のある樹種が選ばれており、非常に良い。
- 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を全国に普及PRするため、計画的な生産が必要。
- 一般招待者の記念植樹会場を県東部に複数箇所設け、広域で連携した取組みとなるよう配慮してもらいたい。
- 「森林資源の利活用による林業再生」に向けて、県産材を利用する意義を県民全体で考えるきっかけとしてほしい。
- トイレの配置と飲料水の提供体制の充実に配慮してほしい。

[会議次第等 \[PDF : 171KB\]](#)[資料1 基本計画\(素案\) \[PDF : 1085KB\]](#)[資料2 H26年度取組状況 \[PDF : 304KB\]](#)[資料3 今後のスケジュール\(予定\) \[PDF : 127KB\]](#)



お問い合わせ先

富山県農林水産部森林政策課全国植樹祭推進班

〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1番7号

TEL076-444-4077 FAX076-444-3390



[当HPへのリンクについて](#)

[サイトポリシー](#)

Copyright(c) 第68回全国植樹祭富山県実行委員会 All rights reserved.

第 68 回全国植樹祭富山県実行委員会 第 2 回総会 次 第

日時：平成 27 年 2 月 2 日（月）10:00～11:00

場所：ANA クラウンプラザホテル 3 階鳳

1 挨拶

2 審議事項

- 第 68 回全国植樹祭基本計画（素案）について 資料 1
- ・大会テーマについて
 - ・シンボルマークについて
 - ・植樹行事計画について

3 報告事項

- 全国植樹祭に向けた平成 26 年度の取組状況について 資料 2

4 今後のスケジュール（予定）について

資料 3

第68回全国植樹祭富山県実行委員会 第2回総会 出席者名簿

(敬称略)

区分	団体	役職	氏名	出欠	代理
会長	富山県	知事	石井 隆一	○	
副会長	富山県議会 (公社)とやま緑化推進機構 魚津市	議長	高平 公嗣	○	
		理事長	高木 繁雄	○	
		市長	澤崎 義敬	○	
学識者	富山大学	学長	遠藤 俊郎	欠	
	富山国際大学	学長	中島 恭一	○	
林業・ 緑化団体	富山県山林協会	会長	高平 公嗣	○	
	富山県森林組合連合会	代表理事会長	桃野 忠義	○	
	富山県木材組合連合会	会長	西村 亮彦	○	
	(公社)富山県農林水産公社	理事長	寺林 敏	○	専務理事 祖川信一
	(一社)富山県建設業協会	会長	近藤 駿明	○	常務 竹田淳一
	富山県素材生産組合	理事長	島田 勝由	○	
	富山県林業研究グループ協議会	会長	宇井 展生	○	
	富山県樹苗緑化協同組合	理事長	加茂 輝隆	○	事務局長 柳原正紀
	(一社)富山県緑化造園土木協会	会長	加茂 輝隆	欠	
	(公財)花と緑の銀行	理事長	荒木 勝	○	専務理事 定村剣次
	富山県花とみどりの少年団連絡協議会	会長	桃野 忠義	○	
農水団体	富山県農業協同組合中央会	会長	穴田 甚朗	○	
	富山県漁業協同組合連合会	代表理事会長	森本 太郎	○	参事 谷 宣之
	富山県内水面漁業協同組合連合会	代表理事会長	米澤 博孝	○	
建築団体	(一社)富山県建築組合連合会	理事長	丸田 和重	○	
	(公社)富山県建築士会	会長	中野 健司	○	
経済団体	富山県商工会議所連合会	会長	高木 繁雄	○	
	富山県商工会連合会	会長	石澤 義文	○	専務理事 池田 進
	(一社)富山県経営者協会	会長	稲垣 晴彦	○	専務理事 佐藤 登
	富山経済同友会	代表幹事	久和 進	○	環境問題委員長 東澤善樹
観光団体	(公社)富山県観光連盟	会長	高木 繁雄	○	副会長・専務理事 高野博之
青少年・女性	富山県婦人会	会長	岩田 繁子	○	
	(社)富山県社会福祉協議会	会長	岩城 勝英	○	専務理事・事務局長 石坂博信
環境関係	(公財)とやま環境財団	理事長	新木 富士雄	○	
	(公財)環日本海環境協力センター	理事長	鈴木 基之	○	常務理事事務局長 川崎清人
文化団体	(一社)富山県芸術文化協会	会長	吉田 泉	○	
教育団体	富山県PTA連合会	会長	八嶋 浩久	○	
輸送団体	西日本旅客鉄道(株)金沢支社	支社長	野中 雅志	○	富山地域鉄道部長 川崎郁夫
	(公社)富山県バス協会	会長	桑名 博勝	○	専務理事 小竹典吉
	富山県タクシー協会	会長	土田 英喜	○	専務理事 清澤新一
県議会	富山県議会農林水産委員会	委員長	山上 正隆	○	
国 県	林野庁中部森林管理局	局長	奥田 辰幸	○	富山森林管理署長 加藤昭広
	富山県知事政策局	局長	日吉 敏幸	○	
	富山県観光・地域振興局	局長	洪谷 克人	○	次長 亀井明紀
	富山県生活環境文化部	部長	村椿 晃	○	次長 熊谷和哉
	富山県農林水産部	部長	須沼 英俊	○	
	富山県土木部	部長	林 正之	○	次長 新庄幹夫
	富山県教育委員会	教育長	寺井 幹男	○	次長 伍嶋二美男
	富山県警察本部	本部長	櫻澤 健一	○	
市町村	富山市	市長	森 雅志	○	農林水産部長 上田修正
	高岡市	市長	高橋 正樹	○	副市長 林 時彦
	射水市	市長	夏野 元志	○	産業経済部次長 明神 栄
	氷見市	市長	本川 祐治郎	○	農林畜産課長 中田正俊
	滑川市	市長	上田 昌孝	○	農林課長 膳亀進
	黒部市	市長	堀内 康男	○	産業経済部長 林 高好
	砺波市	市長	夏野 修	○	商工農林部長 八田俊伸
	小矢部市	市長	桜井 森夫	○	産業建設部長 川原幸雄
	南砺市	市長	田中 幹夫	○	林政課長 樋口 実
	舟橋村	村長	金森 勝雄	○	副村長 古越邦男
	上市町	町長	伊東 尚志	○	産業課長 竹田亮成
	立山町	町長	舟橋 貴之	○	副町長 舟崎邦雄
	入善町	町長	笹島 春人	○	建設下水道課長 窪野修
	朝日町	町長	笹原 靖直	○	副町長 金島光一
	魚津市議会	議長	梅原 健治	○	
	監事	富山県	会計管理者	島崎 慎一	○
魚津市		会計管理者	田村 清信	○	
参与	(株)北日本新聞社	代表取締役社長	板倉 均	○	編集局報道本部長 本田光信
	(株)富山新聞社	代表	宮本 佐智夫	欠	
	(株)読売新聞東京本社北陸支社富山支局	支局長	横田 博行	欠	
	(株)朝日新聞社富山総局	総局長	中川 恒	○	
	(株)毎日新聞社富山支局	支局長	廣田 正人	○	
	(株)中日新聞社北陸本社富山支局	支局長	中島 健二	欠	
	(株)日本経済新聞社富山支局	支局長	吉田 力	○	
	(一社)共同通信社富山支局	支局長	原 真	○	
	(株)時事通信社富山支局	支局長	加藤 隆	○	
	日本放送協会富山放送局	局長	岩間 正之	欠	
	北日本放送(株)	代表取締役社長	横山 哲夫	○	報道制作局次長 本吉和人
	富山テレビ放送(株)	代表取締役社長	武蔵 徹	○	事業局長 福村文裕
	(株)チューリップテレビ	代表取締役社長	島倉 正	○	
	(株)テレビ朝日富山支局	支局長	中田 絢子	欠	
富山エフエム放送(株)	代表取締役社長	小山 孝義	○		
(株)日刊工業新聞社富山支局	支局長	渡邊 大介	○		

委員78名

うち

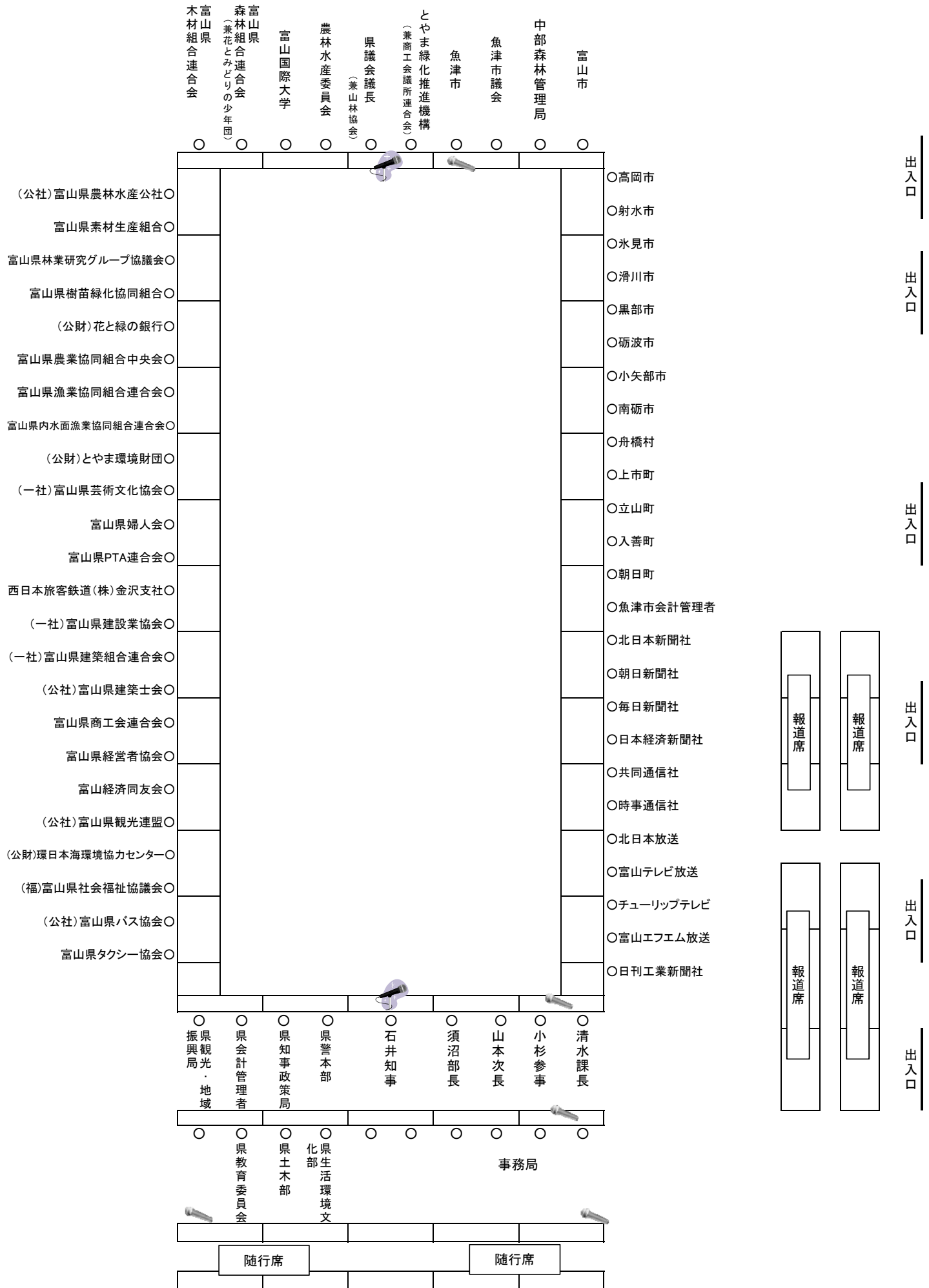
出席

71名

欠席

7名

第68回全国植樹祭富山県実行委員会 第2回総会 配席図



第68回全国植樹祭

基本計画 素案

第68回全国植樹祭富山県実行委員会

全国植樹祭の計画体系 1

第1章 開催概要

- 1. 開催理念 2
- 2. 開催時期 2
- 3. 開催会場 2
- 4. 大会テーマ 3
- 5. シンボルマーク 3
- 6. 大会ポスター原画 3

第2章 式典行事計画 4

第3章 植樹行事計画

- 1. 基本的な考え方 5
- 2. 天皇皇后両陛下の植樹行事計画
 - (1) お手植え計画 5
 - (2) お手播き計画 6
- 3. 代表者記念植樹計画 6
- (参考) お手植え・お手播き樹種一覧 7
- 4. 招待者記念植樹計画 8

第4章 会場整備計画

- 1. 施設配置計画 9
- 2. 主要施設計画
 - (1) お野立て所 10
 - (2) 木製品 10

第5章 運営計画

- 1. 招待計画 11
- 2. レセプション計画 12
- 3. 会場おもてなし計画 13
- 4. その他 13

第6章 宿泊輸送等計画 14

第7章 荒天時式典計画 14

第8章 記念事業等 14

第9章 広報計画 14

今回
(県実行委員会第2回総会)

基本構想
<平成26年5月30日策定>

**基本計画
(素案)**
<平成27年2月>

基本計画(案)
<平成28年1月策定予定>

実施計画(案)
<平成29年1月策定予定>

植樹祭開催の
基本方針を記載

基本構想に基づき、
基本計画(案)の骨格と
なる(素案)を検討

基本構想に基づき、
より具体的な
開催計画を記載

実施内容について
詳細に記載

・大会テーマ
・シンボルマーク
・植樹行事計画
を決定

平成28年2月上旬
国土緑化推進機構の
特別委員会において説明
→決定

平成29年2月上旬
国土緑化推進機構の
特別委員会において説明
→決定

各種マニュアル作成

第1章 開催概要

1. 開催理念

私たちは、全国植樹祭の開催を契機に、県民参加による健全な森づくりの一層の推進と森林資源の循環利用の促進による林業再生を図るとともに、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動やそこで育まれた歴史・文化など富山県の数多くの魅力を全国にアピールし、緑あふれる自然といきいきと人が輝くふるさとを未来へつなぎます。

2. 開催時期

平成29年春季

※ 平成26年8月8日、（公社）国土緑化推進機構理事会において、本県開催が正式決定

3. 開催会場

魚津桃山運動公園（魚津市出）

※ 平成26年11月14日、（公社）国土緑化推進機構との協議が整い、正式決定

4. 大会テーマ（案）

※全国公募により選定しました。

『 かがやいて 水・空・緑のハーモニー 』

作 者 : 濱田 典佳（はまだ のりか）さん（黒部市）

制作意図 : 富山の川、海、森林や空といった自然が調和して、私たち人間にさまざまな恩恵を与えてくれる様子を簡潔に表現した。

講 評 : 森・川・海の言葉を使わずに、立山連峰から富山湾までの輝きが映像のように浮かんでくる作品で、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」や北陸新幹線「かがやき」が連想されるとともに、森づくりと海づくりの連携などの大会の基本方針を親しみやすい言葉で表現。

5. シンボルマーク（案）



作 者 : Shio Design 塩崎 歩美 氏（「きときと君」のデザイナー）

制作意図 : 若葉とシャベルを手に植樹のお手伝いをする「きときと君」を中心に、周りに立山連峰から本県の豊かな森（優良無花粉スギ「立山 森の輝き」）、富山湾とそこに流れ込む川を配し、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育て、輝くふるさと富山を未来へつなぐ県民の姿をイメージしたもの。

4. 大会ポスター原画

※平成27年度に県内小中高校生を対象に公募し、選定します。

第2章 式典行事計画

赤字：「富山県らしさ」の表現

時間	区分	プログラム	進行内容
	プロローグ	プロローグ案内	
		歓迎演出	富山の自然や歴史・文化、海づくりと連携した県民参加による森づくり活動の紹介等を伝統芸能、洋舞、映像で表現し、本県の魅力をアピール
		記念式典のご案内	
	記念式典	天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	大会会長(衆議院議長)、富山県知事
		表彰	森林や自然を育み守ってきた緑化功労者への感謝として表彰
		苗木の贈呈	贈呈：森、川、海づくりに取り組む小学生等 受贈：農林水産大臣、環境大臣
		天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き	
		代表者記念植樹	県内外特別招待者
		大会テーマのアピール	本大会の開催理念等をアトラクションにより表現
		大会宣言	国土緑化推進機構理事長
		リレーセレモニー	次期開催県(福島県)への引継ぎ 〔全国植樹祭のシンボル「木製の地球儀」を手渡すとともに、東北復興支援のための「苗木の育成リレー」(長野、富山、福島連携)も実施〕
		閉会のことば	富山県議会議長
		天皇皇后両陛下 御退席	
	エピローグ	エピローグ案内	
		エピローグ演出	未来の森・川・海へのメッセージ発信など

1. 基本的な考え方

- ❖ 富山県の気候風土に適した広葉樹や優良無花粉スギ「立山 森の輝き」などを植栽し、県民参加による健全な森づくりと森林の循環利用の促進による林業再生を目指します。
- ❖ お手植え、お手播き樹種は、本県が「環境先端県」や「桜の宝庫」であることをアピールでき、県民に親しみのあるものを選定します。
 - ①天皇陛下については、本県のシンボリックな樹種や森林資源の利活用を象徴する樹種
 - ②皇后陛下については、雪国である本県の里山を花で彩る樹種
 - ③本県の歴史・文化や産業、森・川・海のつながりなど、富山県らしさを表現できる樹種

2. 天皇皇后両陛下の植樹行事計画

(1) お手植え計画

- ❖ 天皇皇后両陛下のお手植えは、式典会場内に設ける両陛下の御座所となるお野立所前のお手植え所で、「森」の字をかたどり、それぞれ3本の植樹とします。
- ❖ お手植えされた記念樹は、魚津桃山運動公園内に移植後、「県民参加による森づくり活動」の象徴として、大切に管理・育成します。

《 お手植え樹種（案） 》

天皇陛下	タテヤマスギ 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」	コシノヒガン 「エドヒガン」を親に持つ本県発祥の長寿のサクラ	ヒメコマツ アルペンルートの代表種、合掌造りの柱
皇后陛下	コシノフユザクラ 本県固有の二度咲きのサクラ	キタコブシ 雪国の春を象徴する花	ホオノキ 万葉集では富山でのみ詠歌



＜先催県の事例（平成26年 新潟県）＞

(2) お手播き計画

- ❖ 天皇皇后両陛下のお手播きは、式典会場内のお野立所前に設けるお手播き所でお手播き箱へそれぞれ2種の播種とします。
- ❖ お手播きされた種子は、富山県が管理・育成し、県森林研究所等に植樹するほか、県内市町村から希望をとって「記念樹」として配付します。

《 お手播き樹種（案） 》

天皇陛下	エドヒガン 日本を代表する長寿のサクラ 河岸に多く生育、森と川を結ぶ象徴	タブノキ 海岸に生育、森と海を結ぶ象徴 万葉集では富山でのみ詠歌
皇后陛下	ヤマザクラ 菊と並ぶ日本の国花 野生種のサクラの代表種	マルバマンサク 合掌造りの木組みの結束材



＜先催県の事例（平成26年新潟県）＞

(3) 代表者記念植樹計画

- ❖ 招待者代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に記念植樹を行います。
- ❖ 場所は、特別招待者席前で行うものとし、それぞれ1本ずつ植樹を行います。
- ❖ 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。



＜先催県の事例（平成25年鳥取県）＞

第3章 植樹行事計画

(参考) お手植え・お手播き樹種一覧

《 お手植え樹種 (案) 》

天皇陛下	皇后陛下
<p>タテヤマスギ 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」</p> 	<p>コシノフユザクラ</p> 
<p>コシノヒガン</p> 	<p>キタコブシ</p> 
<p>ヒメコマツ</p> 	<p>ホオノキ</p> 

《 お手播き樹種 (案) 》

天皇陛下	皇后陛下
<p>エドヒガン</p>   	<p>ヤマザクラ</p>   
<p>タブノキ</p>   	<p>マルバマンサク</p>   

(4) 招待者記念植樹計画

- ❖ 開催市である魚津市以外の市町村とも連携して県全体としての取組みとするため、式典会場である魚津桃山運動公園のほかに、市町村からの要望を聞いて、植樹会場を選定します。
- ❖ 招待者記念植樹は、県内外からの招待者による1人1本以上の記念植樹とします。
- ❖ 県外招待者は、記念式典開始前の午前中に植樹とし、県内招待者は、午前・午後に分かれての植樹とします。
- ❖ 富山県の気候風土や会場特性に適した植樹とします。

《 植樹会場の選定にあたって 》

※一人1本以上の植樹や、招待者の輸送等を考慮して、全体で8,000～10,000本植栽可能な会場が必要（面積約4.0～5.0ha）

※植樹後の管理については、市町村や森林所有者、森林ボランティア等の県民の皆さんにより実施



<第20回大会(昭和44年・本県開催)での一般招待者記念植樹>



<先催県の事例(平成26年新潟県)>

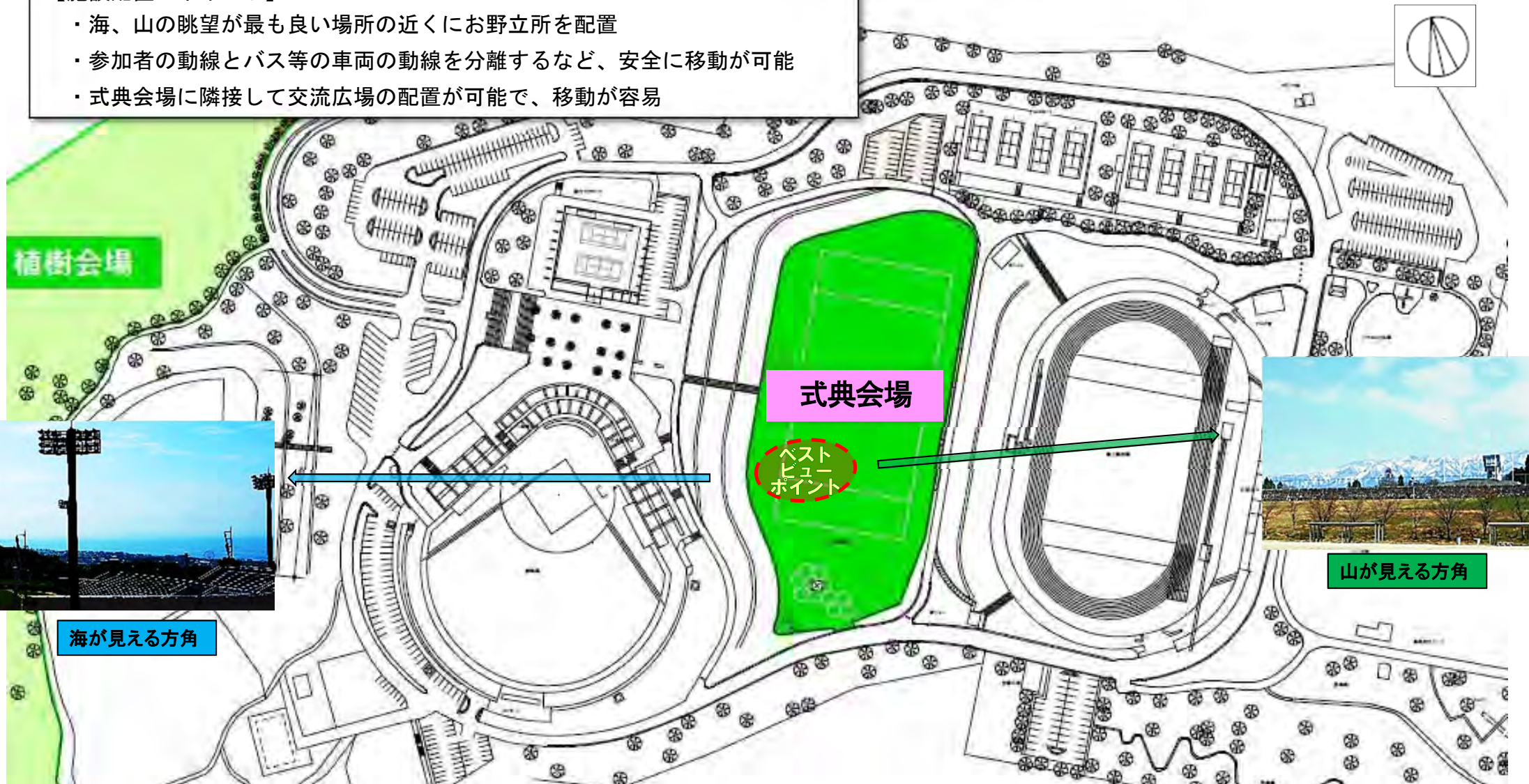
第4章 会場整備計画

1. 施設配置計画（案）

❖ 会場は、式典会場、交流広場、本部エリア、入場チェックエリア等にゾーン分けします。

【施設配置のポイント】

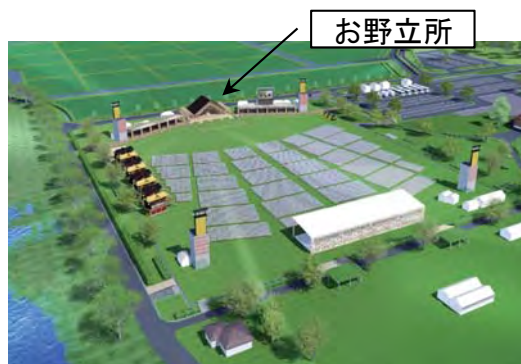
- ・ 海、山の眺望が最も良い場所の近くにお野立所を配置
- ・ 参加者の動線とバス等の車両の動線を分離するなど、安全に移動が可能
- ・ 式典会場に隣接して交流広場の配置が可能で、移動が容易



2. 主要施設計画

(1) お野立所

- ❖ お野立所は、富山湾と立山連峰の眺望が最も良い場所の近くに配置します。
- ❖ 県産材を使用し、植樹祭終了後に移設、再利用します。
- ❖ 「五箇山合掌造り」や散居村の「屋敷林とあずまだち」、「雄山神社の杉並木」、「立山連峰」などをモチーフに「富山らしさ」を表現するとともに、周辺の景観と調和したものとします。
- ❖ プロポーザル方式で設計業者を選定し、設計します。(H27)



<石川県の会場イメージ>



お野立所イメージ



<山口県の事例>

(2) 木製品

- ❖ ベンチ、プランター等の木製品には、県産材を使用します。
- ❖ 県木材研究所が、公募したデザインを基に、総合デザインセンターの大矢所長のアドバイスを受け、一般招待者用のベンチ、飾花用のプランターカバーを開発しました。



県産材ベンチ（折畳み可能）



県産材プランターカバー

1. 招待計画

参加者区分		人数	備考
①中央特別招待者		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、林野庁長官、富山県知事、県議会議長、次期開催県知事、開催市長、公益社団法人国土緑化推進機構理事長 等
②特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国会議長、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議長 等
	県内特別招待者	200人	県議会議長、市町長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	小計	420人	
③一般招待者	県外一般招待者	950人	各都道府県森林・林業関係者 等
	県内一般招待者	2,800人	県内の森林・林業関係者及び県内公募による一般県民 等
	小計	3,750人	
招待者小計 ①+②+③		4,200人	
④本部員／協力員		2,000人	実施本部員、協力員、出演者、運営ボランティア
合計 ①+②+③+④		6,200人	

県外招待者：1,200人 県内招待者：3,000人
中央特別招待者等を除き、全員バスで移動

2. レセプション計画

天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第68回全国植樹祭招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

〔主 催〕 富山県

〔開催日時〕 全国植樹祭開催の前日

〔会 場〕 両陛下の宿泊施設内

〔出席者〕 350名程度

・中央特別招待者

（国務大臣、次期開催県知事、開催市長、公益社団法人国土緑化推進機構理事長 等）

・県外特別招待者

（緑化功労者、代表表彰者、県選出国會議員 等）

・県内特別招待者

（緑化功労者、県議會議員、市町長、実行委員会委員 等）

3. 会場おもてなし計画

参加者をおもてなしする場として、富山県の特産品等の販売コーナーや観光名所等の展示コーナーを設置し、特に、県外からの参加者に本県の魅力を発信します。

区分	施設名	内容
おもてなし広場	総合案内所	参加者に対する各種案内・情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理
	おもてなしステージ	歌や踊り、郷土芸能等の披露
	湯茶接待コーナー	参加者に湯茶、ミネラルウォーター、お菓子等を提供
	販売コーナー	富山県の特産品や飲食物等を販売
	展示コーナー	富山県の森林、林業、観光等について展示紹介
	臨時郵便局	記念切手の販売と郵便、宅配サービス
	救護所	参加者の体調管理・救護
	休憩テント	休憩用のテントを設置
植樹会場	案内所・簡易救護所	参加者に対する各種案内・情報提供・応急処置

4. その他

「昼食計画」、「医療・衛生計画」、「消防・防災・警備計画」については、基本計画（案）を策定する中で検討し、反映します。

第6章 宿泊輸送等計画

宿泊輸送等計画は、平成27年度にプロポーザル方式で計画策定業者を選定し、別途「宿泊・輸送基本計画」を策定して、反映します。

第7章 荒天時式典計画

会場：ありそドーム（魚津市北鬼江）

- ※ 式典会場（魚津桃山運動公園）の正式決定（平成26年11月14日）とあわせて決定。
- ※ 式典会場に近く、荒天時の参加者を収容できるホールを有する。

荒天時の式典プログラム等については、基本計画（案）を策定する中で検討し、反映します。

第8章 記念事業等

- ❖ 第68回全国植樹祭の開催機運の醸成と、県民参加による豊かな森づくり活動やそれを支える森林資源の利活用について、広く周知・普及するため、記念事業等を実施します。

具体的な内容については、基本計画（案）を策定する中で検討し、反映します。

第9章 広報計画

- ❖ 幅広い広報活動を通じて、大会の開催や県民参加による豊かな森づくり活動とそれを支える森林資源の利活用の大切さについて、広くPRするとともに、開催への機運を高めていきます。

具体的な内容については、基本計画（案）を策定する中で検討し、反映します。

全国植樹祭に向けた平成 26 年度の取組状況

1 県民の機運醸成

- (1) とやま森の祭典・県民参加の森づくりフェアでの連携・交流
(5月28日・小矢部市「小矢部運動公園」)
内 容：①森・川・海で活動する小学生による活動発表や交流の森づくり
②海づくり大使による「全国植樹祭」、「海づくり大会」の紹介 など
- (2) 豊かな海づくりフェスタ(全国豊かな海づくり大会1年前プレイベント)でのPR
(10月12日・射水市海王丸パーク)
- (3) 海岸林を育む集いの開催(10月12日・高岡市太田「雨晴海岸」)
参加者：森林ボランティア団体、漁業関係者、地元住民
内 容：①地域住民や森林・漁業関係者によるクロマツの植樹、静砂垣の設置
②記念植樹(石井知事、高岡市長、林業関係団体代表)
③太田小学校による海づくり活動報告

県民参加の森づくりフェア(5月28日)



小・中学生による森・川・海づくり活動報告

海岸林を育む集い(10月12日)

石井知事、高橋市長、澤崎市長
による記念植樹

参加者によるクロマツの植樹

2 県民参加による苗木の育成

- (1) 森づくりボランティアの集いの開催(10月26日・砺波市頼成の森)
参加者：森林ボランティア団体、砺波花とみどりの少年団、漁業関係者
内 容：ドングリ拾い、森づくり活動、「苗木のホームステイ」出発式
- (2) 「苗木のホームステイ」の実施 ボランティア46団体(1,590本)、企業13社(660本)、少年団35団(1,200本)
森林ボランティア団体や花とみどりの少年団など94団体で3,450本の苗木を育成中

森づくりボランティア集い(10月26日)



ドングリ拾い

苗木のホームステイ



ドングリの植付け



苗木の育成状況

3 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及

大会の基本方針の一つでもある『優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の全国への発信』に向けて、首都圏でのPRのため、苗木100本を宇都宮市へ贈り(11月5日)、県外の山林に初めて植栽

期 日：11月8日

場 所：栃木県宇都宮市福岡町(宇都宮市森林公園内)

参加者：宇都宮市森林ボランティア団体、宇都宮市民、宇都宮市森林組合、栃木県、宇都宮市、富山県

宇都宮市へ「立山 森の輝き」を贈呈
(11月5日)

宇都宮市での植樹(11月8日)



新幹線開業や植樹祭、海づくり大会をPR

第68回全国植樹祭の開催に向けたスケジュール（予定）について

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
実行委員会	○設立総会 H26.5.30	第2回○ H27.2.2 基本計画(素案)の検討	○第3回 春頃 基本計画(案)の検討	○第4回 1月頃 基本計画(案)の策定	年2回程度開催
幹事会	○第1回 H26.6.4	○第3回 春頃 基本計画(案)の検討	○第4回 秋頃 基本計画(案)の検討		年2回程度開催
計画策定等	<p>基本構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇開催理念 ◇基本方針 ◇開催地 ◇開催規模等 <p>◆開催決定(理事会) 8月8日</p>	<p>基本計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇大会テーマ、シンボルマーク ◇式典演出等構想(演出テーマ等) ◇植樹計画(樹種の選定等) ◇会場整備計画(施設の配置計画等) ◇運営・広報計画等 <p>◆開催会場決定 11月14日</p> <p>◆基本計画承認(特別委員会) H28.2月頃</p>	<p>実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇式典演出等計画 ◇宿泊・輸送等計画 ◇大会運営等計画 ◇記念事業等計画 <p>◆実施計画承認(特別委員会) H29.2月頃</p>	<p>実施本部</p> <p>◆開催日決定(理事会)H28.8月頃</p>	<p>第68回全国植樹祭 開催(春頃)</p>
会場整備 会場設営等		<p>宿泊・輸送計画</p> <p>お野立所の設計</p> <p>植樹会場の整備</p>	<p>お野立所の建築</p> <p>材料の調達・加工</p>		
大会機運づくり	<p>「立山 森の輝き」展示林造成(6月~10月) 県外で初植樹 H26.11.8 (栃木県宇都宮市)</p> <p>○とやま森の祭典 森づくりフェア H26.5.28 (小矢部市小矢部運動公園)</p> <p>○第1回海岸林を育む集い H26.10.12 (高岡市雨晴海岸)</p> <p>○種子採取イベント 森づくりボランティアの集い H26.10.26(砺波市頼成)</p> <p>ボランティア等県民参加による苗木育成 (H26.11月~)</p> <p>東北復興支援苗木の育成リレー(長野、富山、福島連携) (H26.6月~ 長野県育成)</p>	<p>海づくり大会と連携した大会PR・県民の機運醸成</p> <p>既存イベントを活用したPR・機運醸成</p>	<p>【実施内容は今後検討】</p> <p>長野大会 ○ H28年春~ 富山県育成</p>	<p>福島県へ引継ぎ</p> <p>福島県の海岸林で植栽</p>	
海づくり大会等	<p>○全国植樹祭(新潟大会) H26.6.1</p> <p>◎豊かな海づくりフェスタ(海づくり大会プレイベント) H26.10.12(射水市)</p>	<p>○全国植樹祭(石川大会) H27.5.17</p>	<p>◎全国豊かな海づくり大会 H27.10.24~25(射水市)</p>	<p>○全国植樹祭(長野大会)</p> <p>○全国植樹祭プレイベント(魚津市)</p>	